

## 定住自立圏形成協定の締結へ

利根沼田地域で中心市宣言をした沼田市と連携の意志を有する町村との間で、人口定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、充実を図るとともに、地域活性化に努め住民が安心して暮らし続けることができる定住自立圏を形成することを目的とし、沼田市と町村がそれぞれ個別に協定を締結するものです。



例えば、沼田市と片品村の協定は、生活機能の強化に係る政策分野では、①地域医療の連携強化②子育て支援の充実③障害者福祉の推進などで、地域医療の連携強化では、救急医療は現在広域圏で連携していますが、この協定で連携されると、特別交付税の財政支援があるとのこと。

教育、産業、環境・衛生分野などでもそれぞれ協定を結びます。また、みなかみ町、川場村、昭和村とも同様な協定をそれぞれ結びますが、町村側にも特別交付税の財政支援があります。

## 補正予算で今冬シーズンの除雪費用を計上

### 生活道路への機敏な除雪を要望・井之川議員

一般会計の補正予算に「道路除雪消雪事業費」本庁分 2,500 万円、白沢支所分 2,000 万円、利根支所分 2,500 万円、合計 7,000 万円が計上されました。例年の予算額ですが、井之川議員は、「除雪を担ってきた建設業者の数も減少している状況で、きびしい寒波も予想されるので、市街地の生活道路の除雪も機敏にやってほしい」と建設部長に要望しました。



2014 豪雪・通学路の除雪をする住民のみなさん

2021年1月1日 No.1000

## いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519  
井之川博幸議員活動地域版 部内資料

\*無料化署名運動団体連絡先  
◎新日本婦人の会沼田支部  
\*事務局長 永井 090-1813-3546

## 祝 1000号記念

# 新年おめでとうございます



昨年は「新型コロナウイルス感染症」が世界をパンデミックにおとしいれ、引き続き感染拡大の中、新年を迎えました。

憲法をないがしろにした戦争法、もりかけ問題、桜を見る会事件など、ウソといんぺいばかりの安倍首相が辞任して、菅首相に代わりましたが、日本学術会議への人事介入、コロナ対策無為無策、後期高齢者医療費窓口負担 2 倍化など、いっそうの強権政治、福祉切り捨てなどが続いています。

総選挙がある今年こそ、自公政権を倒し、野党連合政権をつくり、国民が主人公の政治を実現させましょう。

日本共産党の沼田市内の支部と市議団は、みなさんと力を合わせて、全力で頑張ります。今年もよろしくお願いたします。

2021年 日本共産党沼田市議会議員 井之川博幸  
元旦 同 沼田北部・西部・薄根支部一同



井之川博幸市議

## どの子ども安心して給食が食べられるように！

### 学校給食費の無料化を求める署名にご協力ください

子どもの7人に1人が貧困状態(厚労省調査)で、コロナ過の子どもたちの食生活にも影響を与えています。「学校給食」は、子どもたちの発育にも必要不可欠で、その重要性が浮き彫りになっています。

生活に重くのしかかる「給食費」の無料化を求め、運動が続けられてきましたが、現在では県内 35 市町村中、11 市町村が完全無料、15 市町村が一部無料化を実施しています。ぜひご協力ください。➔

